

特 103
39



始





羊津安

大養木
戸山

特 103

39

176
177

特103
39



草津案内

大正
11. 9. 22
内交

るなく白色

ハタ過酸化石鹼

全國藥店化粧
品店小間物店
雜貨店にあり

御化粧に……御入浴に……泡立細かく香りよい

化學的……純良……美膚石鹼！

人體美の大半は皮膚美に屬す

柔く清くベルベットの如き皮膚を欲するものは本品を！

本品は過酸化水素及び一般過酸化物が其酸化作用に由り皮膚を美白ならしめ、日焼け、にきび、吹き物等を防ぐに効ありと云ふ學說に基き一面優秀なる化粧石鹼として研究され獨特なる方式により製造せられたるものなり

發賣元 東京室町 泰昌製藥株式會社

補文化

大表毅

はしがき

草津は世界の靈泉にして浴効卓絶、而も眺望に富み風趣の勝れるを以て名高し。この小著、神泉を説き風光を寫して甚だ穉弱の憾み無き能ざるも之れによつて浴者の東道に資するものあらんか予の満足に堪へざる所なり。不文を顧ずして靈泉の効徳を穢し山水の美妙を損せる所以、他あるに非ざるなり。

再版に際して風薫る草津の客樓にて 著者白す

草津案内目次

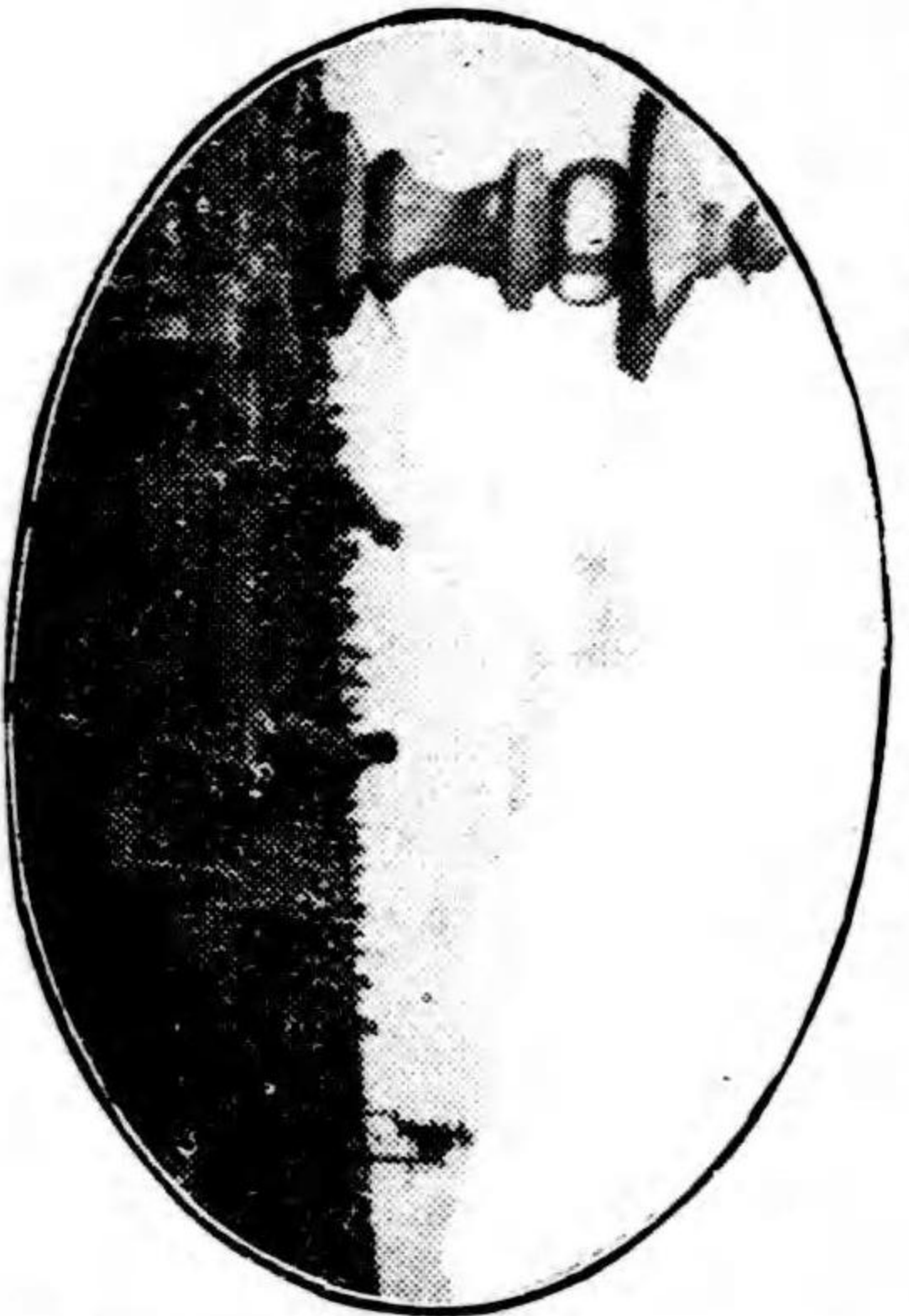
表紙画	長澤霞岳氏筆
題字	犬養木堂先生筆
口繪	三葉
世界一の温泉	一
草津への道程	二
草津の地理と歴史	四
現在の草津	九
草津温泉と旅館	一〇
草津の山水と名所	一六
草津の名物其他	二五
草津の時間湯	二七
草津温泉入浴法	三四
ラゲウムの話	四〇
草津附近地圖(約二萬分一)	一葉



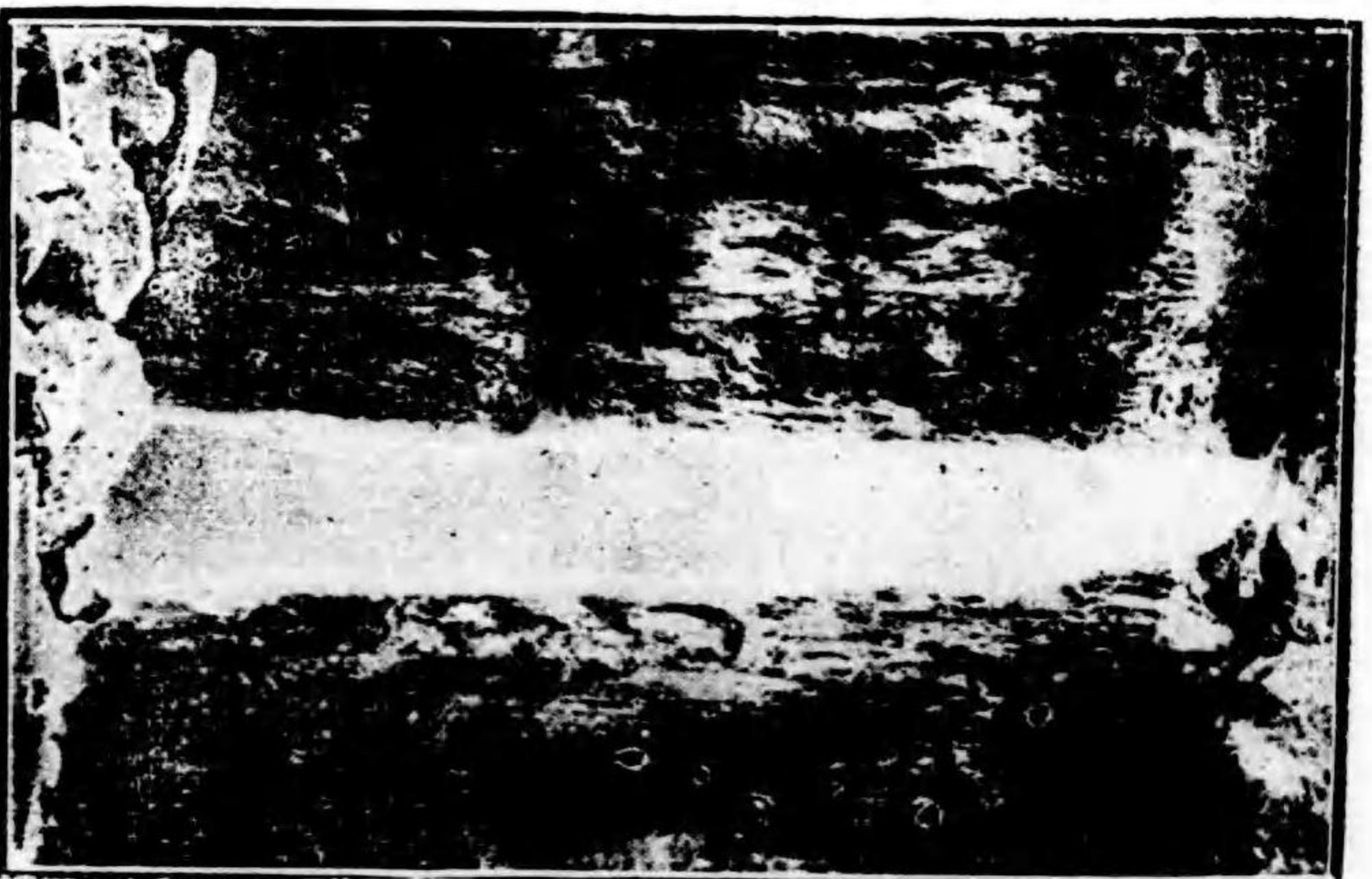
泉全泉温津草州上



草津山光泉寺



大正公園之沈燈籠



瀑布常



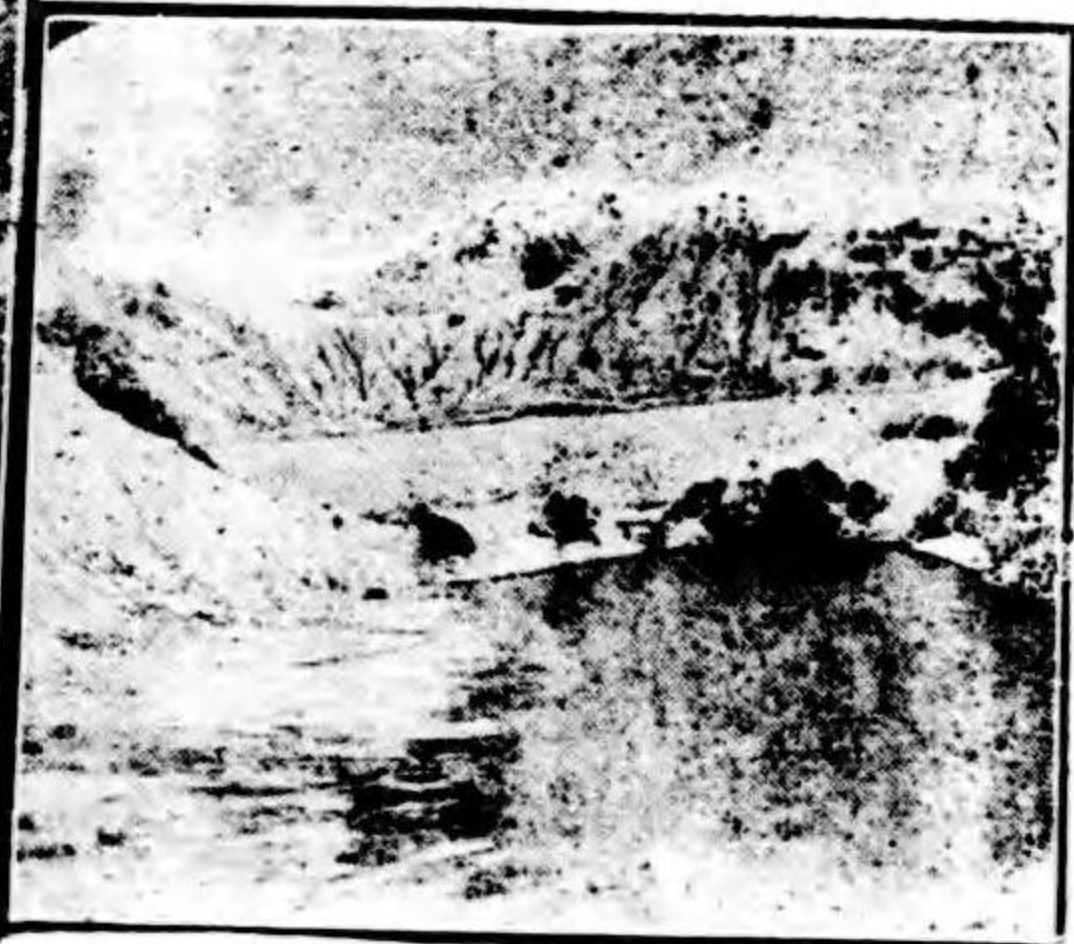
運動茶屋



獅子岩



翁仙瀧



白根山噴火口



時間湯攪拌



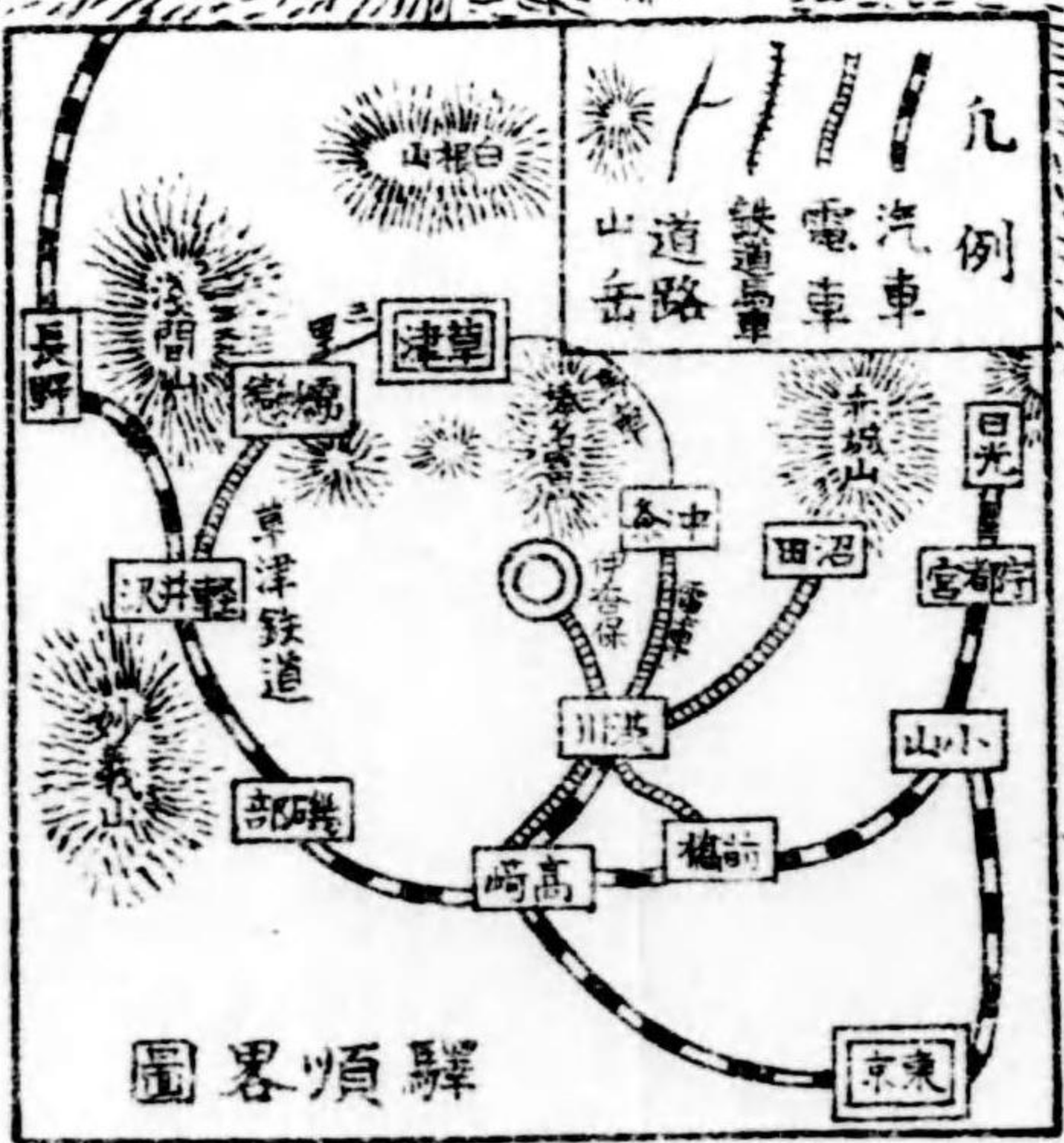
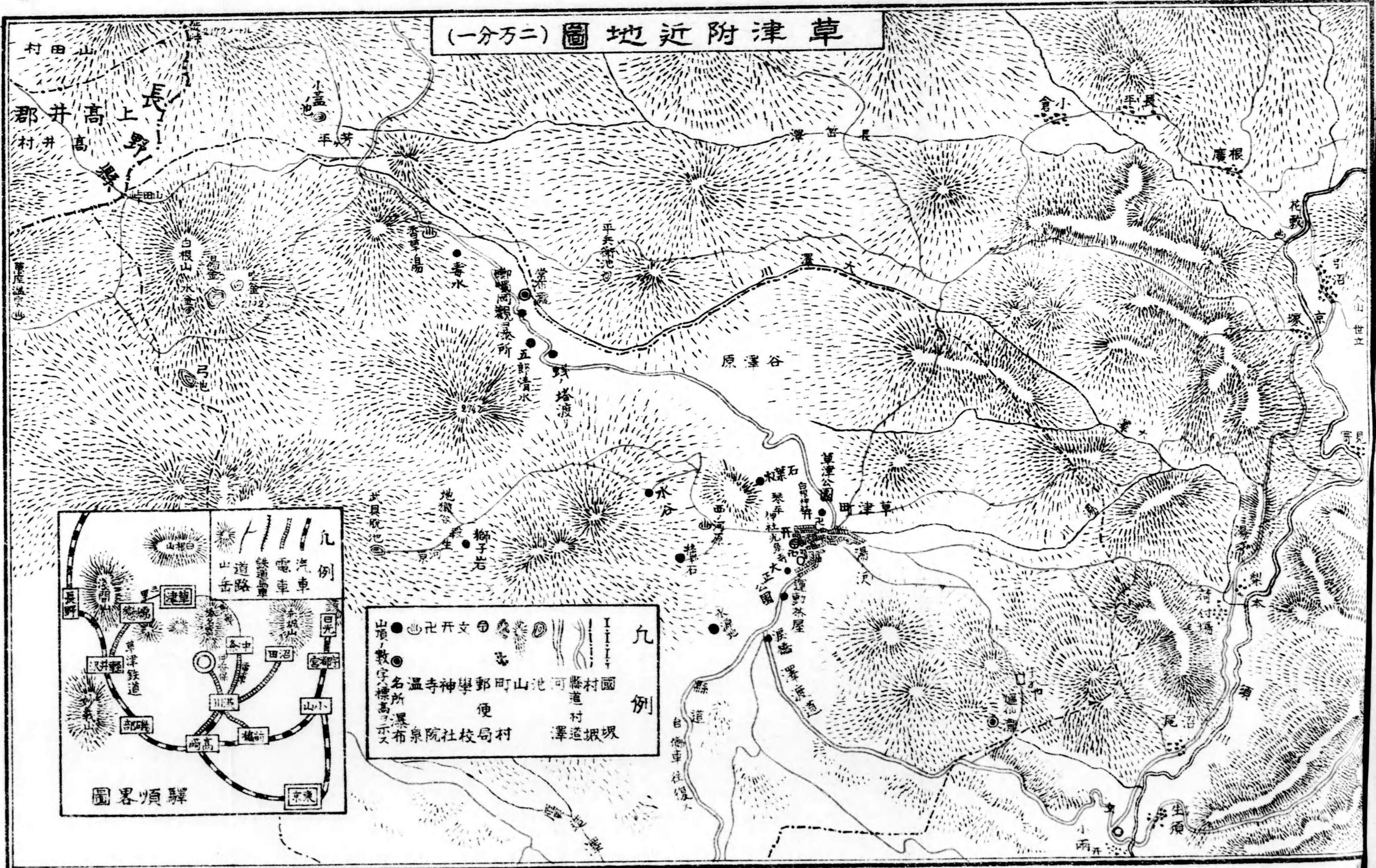
時問湯入浴



（番八十話電） 部一の館別館東大館旅……泉 温 津 草 州 上

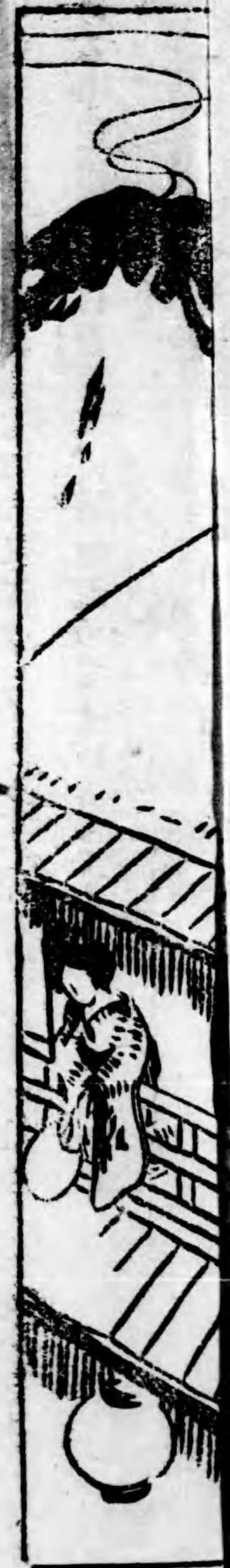


草津附近地圖 (二萬分一)



- 凡例
- 山頂 (Peak)
 - 山頂數字標高 (Peak elevation)
 - 名所 (Name spot)
 - 泉 (Spring)
 - 文 (Text)
 - 布 (Cloth)
 - 開 (Open)
 - 文 (Text)
 - 池 (Lake)
 - 山 (Mountain)
 - 町 (Town)
 - 郡 (County)
 - 學 (School)
 - 神 (Shrine)
 - 寺 (Temple)
 - 温 (Hot spring)
 - 便 (Convenience)
 - 院 (Institution)
 - 社 (Society)
 - 校 (School)
 - 局 (Office)
 - 村 (Village)
 - 國 (Country)
 - 縣 (County)
 - 道 (Road)
 - 村 (Village)
 - 澤 (Swamp)
 - 遠 (Distance)
 - 坂 (Slope)
 - 塚 (Mound)

- 凡例
- 汽車 (Automobile)
 - 電車 (Tram)
 - 鐵路 (Railway)
 - 道路 (Road)
 - 山岳 (Mountain)



世界一の温泉

「お隣者さんでも草津の湯でも……」と昔から其名を知られた草津温泉は我が國ばかりか遠く外國までも響いて遙々と入湯に來る外國人も年々尠くはありません。

温泉としては慥かに本邦は愚、獨逸のカルスハーノ、や、温泉中の温泉と其効能を誇つて居るバーデン、バーデン若しくは埃地利のガスタイン等に比較しても決して遜色が無いと研究して見た學者達は言はれて居ます、左記の人達が偽り無い意見に徴しても首肯される事でしょう。

前帝國大學教授ドクトル、ヘルツ氏は其著、日本鎮泉論に「草津は常に其溫泉湧出の量、多大なるのみならず理科學的療養地として適當なる日本全國に其比を見ず云々。」

醫學士中村守信氏は「草津は世界無比の溫泉なり其成分中許多の遊離硫酸と遊離鹽酸とを含有するを以て皮膚を強壯にする効顯著大なり云々。」

醫學博士土肥慶藏氏は「溫泉多含二硫黃兼遊離酸。溫度極高。山川秀麗。空氣清澄。實稱三海内無比一非誇張也。地便ニ於交通。食物飲料皆新鮮適レ體。況於三山水之秀麗空氣之清澄一乎。其治沈痼療宿病不レ足レ怪也。」

醫學博士濱田支達氏は「僕は慢性の神經痛で學術の限り醫療を施したが治らぬので試に草津へ入浴したら痼疾は忘れて終った。」

草津溫泉が實際、萬病に効驗の著しいのは其道の大家も驚かれる所で近世、理科學の進歩と共に益々顯著となつて來ました、私は或種の病氣によりては醫術以上の力がある事を確信し保證して、筆を進めてまいります。

草津への道程

草津への交通は輕便鐵道が開通して以來非常に便宜となりました。

先づ出發地から汽車に搭乗した方は信越線輕井澤驛に降りて草津輕便鐵道に乗換るのです。(輕井澤着は成る可く午前中になる様、旅行案内等にて發着時間を慥かめて出發されるのが得策です) 輕便の終點嬬戀驛までは約三時間、嬬戀驛より草津迄は三里冬季を除けば頻繁に自働車が往復し、馬車と駄馬ならば四季共完全に連絡致します。此賃錢孰れも貳圓以内で、東京上野發三番及長野發四番迄は其日に到着いたします。一月より五月迄は輕便が一日二回往復ですから輕井澤泊りになる事もあります。

草津鐵道は日本一の高山鐵道で海拔四千四百尺余の高原を通過いたしますので時には雲上を馳せ或は脚下に雷鳴を聞くなどの奇觀もあり沿線には高山植物の花さまざま

に咲き競ひ愛らしき野原や溪流涔々として夏猶寒き幽境もあり一瞬一轉の風光の美に接し自然の大觀に觸れ眞に忘れ難い快感を体得しつゝ、車窓に倚つたまゝ、夢の様に參られます。

(東京上野驛から澁川驛に御下車、中之條まで電車、同所より草津まで自働車で御越になるもよろしく此通路には關東の耶馬溪と申す絶景があります、又信州澁温泉よりする路もありますが七里の峠が困難で駄馬か駕籠の外ありません、然し風光はなかく面白く途次白根の噴火口を探ぐるも興味がありません、澤渡通りは前記の中之條より澤渡に出て參りますが之れも馬か駕籠の外に乗物はありません)

草津の地理と歴史

草津温泉は海を抜くこと四千五百尺、上野國吾妻郡草津町の一廓に在つて西に白根山北に、澁嶺峙ち東南遙かに吾妻、岩峯、萬座、淺間等の諸山に環繞されて居ます然

し東南は一望廣漠なる高原に接し、綠樹芳草其間に色彩を施し眺望のよい處ばかりです、地層は火山岩より成つて居ますから濕氣が少なく温泉より噴出する硫黄華は地上到る處に發散して自ら土地消毒を爲し沼氣瓦斯の發する事もなく極暑の日盛りとても華氏の八十度を超えたることがありまけん、市街は湯畑と稱する方形二百餘坪の大熱湖を中央に圍みて形成するので奇觀です、町は新田町、堅町、東仲町、西仲町、泉水道、關屋町、瀧下町、地藏町と分かれ、時間湯と名づくる規律的入浴場は五個所に在ります、東仲町に松の湯、西仲町に熱の湯、瀧下町に鷺の湯、千代の湯、地藏町に地藏の湯と部落毎に分れ、共同湯には白旗の湯、瀧の湯、關の湯、綿の湯、玉の湯、富の湯、仁川の湯等があります。交通は中之條方面への縣道がある限りですが夫れらは前陳の通りです、山中の事故、飲料水は極めて清冷で夏でも手を入れるに堪へられぬ程です、氣候は前に陳べた通りですが冬でも夫れ程に寒く無いのは温泉のある關係からで

しよう。

最後に御断りいたして置きますが癩病患者の居ります草津温泉と言ふのは此草津温泉とは全然異つて居りまして、大字湯の澤と稱する此温泉地の下位に離れたる別天地を爲して居るのが彼等の部落ですし此の温泉とは入浴も生活も没交渉で何の關係もありません、御混同して居らるゝ方がありますから一寸記して置きます。

草津の創關に就ては記録や考證の據るべきものが無いから詳かでない、雖然、景行天皇四十年、日本武尊の東夷征討前、すでに開湯されて居た事は史實に徴しても想像が出来ますが慥かの事は草津温泉由來記(光泉寺所藏)に據つて窺へます、夫れには文正天皇の養老五年大和國菅原寺任職行基僧正此地に曳鋤……云々とありまして其頃は人々が入湯した事に違ひは無いようです、(大正十年より千二百五年前)其後七百年餘を経て源賴朝が來浴され、今より三百餘年前には近衛龍山公が湯浴する等の事があつ

て其名が追々天下に鳴り響き浴客は年と共に多きを致しました、彼の堯惠法師の北國紀行の如き豊大閣の先觸れ書の如きに徴しても當時の名聲を偲ぶ事が出来、又、寛保癸亥年徳川大樹公の台命に依り遠く温泉を江戸城に輸送したる事や、當時貴賤を問はず山水を樂む者病痾を治療する者が謂集して陸續迹を絶たなかつた事は如何に鑛泉の靈驗が著しく普く知れて居たのを語るものでしょう、又近來日本でも温泉を利用して陸海軍の療養所が設けられますが歴史を按ずるに古來吾國に於て武士の傷痍疾病を治するに温泉を應用したのは武田信玄が草津村(目下の草津町全部)に湯治場を設けたるより大規模のものは他にありません此の事実は實に名將が平時良く部下の康寧を謀り戦に臨み萬夫不當の兵を擁したる所以でありませう、又前田家の古記録には小田原對陣後利家公は傷痍を治するに吾草津に來て加療せられたとの事であり、足利將軍時代既に温泉場としての設備は出來て居たし歴史的に諸疾病の治療上功驗あつ

た事が瞭然いたします。

當時の有様を上信日記によれば稍審に知る事が出来ます。

草津は家居のさま聞渡りしよりも多く、其棟々しき目を驚かしぬ、一と里の賑ひいさいかめし、先づ家居すべて四五軒にあまれるこや、中に大きやかなる四十ばかりは三階つくりなり、旅人やさすつぼね百四五十づ、造り連れたり、髪束ぬる家五つ、小弓ひかする所十軒あまり、酒のみで酔遊ぶべき家七八軒、湯は七ヶ所あり、中にもすぐれて見ゆるは瀧の湯なり、薬師堂に二王門、本堂、鐘樓、釋迦堂あり山のそびらなそびて北西へ三町ばかり行けば金毘羅あり、見わたしよし、鬼の家、鬼の住居場、獨行けば白根の麓なりとぞ云々

草津温泉は斯くして漸々發展いたし明治の聖代に會ひ、内外貴紳の來浴頻りとなり特に大醫ヘルツ博士の來浴に因り氣候と温泉とが世界無比の稱を享くるに及び名聲愈々聞ゆるに至りました、然れども好事魔多く、斯く發展せる温泉地も去明治二年火を失して全町悉く焦土と化し爾後汲々として經營し來り漸く舊態に回復したのに又もや四十一年五月祝融氏に見舞はれ、市街の要地に當る建築物の大半は池魚の荒暴に委し

去られ發展の上に多大の妨げを受けましたが漸く舊觀に復しつゝあるは勿論、其建築設計に進歩せる技術を應用せるが爲め市街の美觀に資するものは多くなりました。

斯くて最近草津輕便鐵道の開通を見るに至りまして茲に一新紀元を生み出し舊來の面目を革むる事になりました。

現在の草津

草津温泉は前に陳べました如く鐵道の開通によりて急激の發展を見る事になりました、現在戸數は三百餘、人口は一千五百に近く、三層四層の大厦高樓は軒を接し、内容外觀共に他の有名な温泉地に比肩して耻かしくありません、商店にも大概の日用雜貨類は在りますし料理店にも東京同様、山海の珍味が乏しくありませんから如何なる食道樂でも不自由は無いと思ひます。

娛樂機關?には温泉場に附物と言はれる例の大弓、射的を始として其他碁、將棋、玉突、庭球等の設備もありまして浴餘の無聊を慨つ氣遣ひは御無用です、面白く感じますのは浴客同志の茶話會、演藝會等が屢々催されてお互にお腹を抱へる事です、劇場もあつて時には名優の出演を観る事もある様になりました。

郵便局(電話、電信、爲替、貯金等一切の取扱をいたします、集配は毎日數回あり東京新聞も日着いたします)警官駐在所(巡査部長と巡査駐在所と二箇所ございます)町役場、小學校、鑛泉取締所、浴醫局、敎食堂、スキー俱樂部、電氣株式會社等があつて些少の不便も感じ無い様になりました。

草津温泉と旅館

泉質は酸性泉でありましてラヂウム、エマナチオンの外に數種の豊富なる含有物の

あります事は世界の温泉中、遙かに頭角を現はして居ります、温度は最高華氏百二十三度最低百十三度位にして旅館の内湯、共同湯等も大同小異です。(入浴には温度を加減してお好み次第にいたします)
餘り素人には必要ありませんが最近内務省東京衛生試験所より出張の上檢定した二種の試験表を御参考にいたします。

檢定表

鑛泉にありては約二「リートル」涌出瓦斯にありては約二「リートル」を試験に供し毎回二百三十「ヴォルト」以上の電壓を用ゐる二十五分間の觀察に基き必要なる補正を加へ鑛泉にありては室温涌出瓦斯にありては攝氏零度に於ける容積一「リートル」に付一時間の放電に改算し「マツ」単位を以て放射能作を表示す。

鑛泉の放射能作

- 第一號 〇、三マツ
- 第二號 〇、一八マツ
- 第三號 〇、三マツ
- 第四號 〇、一六マツ
- 第五號 〇、三マツ
- 第六號 〇、一四マツ
- 第七號 〇、一七マツ
- 第八號 〇、三マツ

湧出瓦斯の放射能作

攝氏零度に於ける容積「リットル」に改算せるもの

第一號 〇、六マツヘ 第二號 〇、七マツヘ 第三號 〇、八三マツヘ

第四號 〇、三マツヘ 第五號 〇、七マツヘ 第六號 一、三マツヘ

以上鑛泉八種及湧出瓦斯六種の放射能作は「ラヂウム、エマナチオン」に基因するものなり

大正二年四月九日

内務省東京衛生試験所々長衛生試験所技師藥學博士 田原良純 印

主任衛生試験所技師藥學博士 石津利作 印

定量分析表

定量分析本水每千分中に含有する各成分の分量左の如し

硫酸 アルミニウム	一、〇六五	硫酸 亞酸化鐵	〇、三〇七
磷酸 アルミニウム	〇、〇二〇	クロールマグネシウム	〇、二七九
クロールカルチウム	〇、二七三	クロールナトリウム	〇、〇九三
クロールカリウム	〇、〇三五	クロールアムモニウム	〇、〇〇三

珪酸	〇、二四九	硼酸	〇、〇一五
硫酸	二、二六四	硫酸	〇、三〇八
水素	〇、〇〇五		
年 月 日		試験官名印	同前

其の醫治効能は學者の研究に因り左の諸病に適應することが證明されました。

□劇性の粘液漏(例……流注性アブセス骨膜炎、脊椎カリエス、骨結核、手術後の肉芽發生不良、腔膿漏、尿道膀胱氣管食道の諸漏病、涙漏、耳漏、痔漏)

□慢性加答兒(例……各關節、粘液囊炎、淋毒性尿道炎、子宮内膜炎、卵巢、喇叭管炎、子宮周圍炎、正副睪丸炎、内外中耳炎、咽喉炎、扁桃腺炎、鼻加答兒、嗅鼻病肥厚性鼻炎、トラホーム、慢性腹膜炎、盲腸、肝臓、直腸、肛門等の諸炎症病)

□梅毒性潰瘍(例……軟性、硬性の下疳、ゴム腫、後期の鼻咽喉、梅毒性炎症、横痃コンジローム)

- 頑固の潰瘍 (例……病院脱疽、子宮並に膈の癌腫性潰瘍、狼瘡、水瘡、肉腫馬鼻疽性潰瘍、一般壞疽、皮膚結核性潰瘍等)
- 腺病ルイレキ一般身體軟弱リヨウマチス神經痛等。
- 惡液 (例……白血病、假性白血病、糖尿病、蛋白尿、進行性惡性貧血、萎黃病、紫斑病、血友病、壞血病、尿崩症、痛風、骨髓炎、骨髓勞等)。
- 粘膜の弛緩より來る下痢 (例……慢性胃腸病、胃腸弛緩、胃腸下垂、擴張等の下痢)
- 慢性皮膚病 例……(寄生動物性皮膚病)疥癬、毛囊虫、(寄生植物性皮膚病)癩風、紅色陰癬、白癬、寄生性ヘルペス頑癬、(慢性傳染性皮膚病)尋常性狼瘡、皮膚結核疣狀結核、腺病性結節、(鱗屑性皮膚病)乾癬、糖秕疹、苔癬、(癢痒性皮膚病)濕疹痒疹、匍行性皮膚炎、(痤瘡髯皮膚病)痤瘡、髯瘡、酒、鼻、分泌變常性皮膚病。
- 其外、ランドロー氏麻痺の後遺症、神經衰弱、ヒステリー、虛性出血、書癡性、偏

頭痛、遺傳性小兒病、共働機障害、小兒麻痺病。

温泉に入浴するに旅館の内湯と共同湯、規程的の時間湯の區別がありますけれど、其何れに浴湯されましても効能に大した相違のあつたものではありません、只、入浴法は守らねばならないと常に醫家も言ふて居りますので卷末に附録として載せて置きました、御精讀下さい。タマレ治しは澤渡温泉が一番よろしいとす。

草津の旅館は一等より六等までの等級に分けて居りますが何れも永滞留の浴客をお相手いたしますので夫れは々々親切本位に何事も仕て呉れます、割合に物價も安くつて滞在費は大約左表の標準で間に合ます、勿論、客室、寢具、食事等に就て多少の高低はありますから其邊は御随意に御撰擇なされるが得策です、旅館合計六十一戸一ヶ年の累計浴客は二十萬人前後を數へます。

滞在區別	旅館級					
	一	二	三	四	五	六
普通旅籠	金二圓以上	金一圓八十錢以上	金一圓五十錢以上	金一圓二十錢以上	金一圓以上	金八十錢以上
浴客お賄	金二圓五十錢以上	金二圓以上	金一圓八十錢以上	金一圓五十錢以上	金一圓二十錢以上	金一圓以上
三食付一日	金二圓五十錢以上	金二圓以上	金一圓八十錢以上	金一圓五十錢以上	金一圓二十錢以上	金一圓以上
摘要	旅籠の中食料は泊料の二分一以内湯銭は各自御負擔の事に定まつて居ます					

草津の山水名所

高山にして空氣の清澄、氣候の快涼なことは驚く許りで盛夏の最暑日でも八十度を越す事は稀れでございませす、特に郊外の風致に至つては四季共に宜しく春の櫻桃李花は申すに及ばず藤に躑躅に柘榴に高山植物の愛らしき珍花が至る所に其艶研を競ふて居ります、初夏に近づきますと慈悲心鳥や鶯やさては杜鵑の軒端をかすめて歌ふも面白く秋は烏柏の紅葉、野に山に滿ちて緑の松にからむ蔦蔓の黄に紅に得もいはれ

ぬ美しさを呈します、又初冬の景色は一入なるに雉子、山鳥、うづらなど多く狩獵の名士が腕によりかけて先を争ふ處です、十二月末より四月初迄の積雪中はスキー場として無限の廣原を開放し草津スキー俱樂部に於て萬端の設備をなし御來遊を待て居ります。

この風色の間に介在する多くの名所古跡は浴餘の散策に恰適であり、身体の運動を圖り病痾の絶滅を期するに無くてならぬ所計りです、曳杖の順に紹介して置きませう。

(詳細は略圖を参照して下さい)

(白根神社) 温泉地の北丘上に鎮座して居ります、日本武尊を祀れる郷社にして境内は閑寂を帯び風光もよろしく夏の夜の逍遙に眺向きです、境内と接して草津公園、其下方に祖師堂等があります、境域に平家の化燈籠と言ふ奇態の石燈籠があり、土肥博士の書かれた鷺の湯の碑も其の社傍に在りますその碑文は次の通りです。

草津鷺湯碑

草津鷺湯碑

皇后太夫從二位勳一等子爵香川敬三篆額

凡養病之地冬宜海濱資其溫暖夏宜山間資其清涼吾國四面皆海於冬最宜願交通之機關未大備是以雖有高山峻嶺不得遽來往是可恨也獨上毛草津發東京駕汽車踰碓氷嶺至輕井澤車馬半日而達加以溫泉多含硫黃兼遊離酸溫度極高山水秀靈空氣清激實稱海內無比非誇長也此泉創見後鳥羽天皇建久四年源右大將賴朝獵信濃國淺間山歸八月三日求經此始浴焉至足利氏時來浴者益多効大著云地拔海面四千尺草樹鬱蒼氣候爽涼其泉湧極多中有鷺湯相傳昔時土人未知溫泉之効一日見一雄鷺脚負瘡來浸足湯中須臾而愈奮融飛去人驚其奇効因以名也余夙聞草津溫泉之名嘗在大學院日帶官命往視始知其名不負實矣後遊學歐州專講究皮膚科學居五年而歸爾來往驗數次益識其有効而鷺湯軟和頗適皮膚也蓋以地伸於交通食物飲料皆新鮮適體況於山水之秀靈空氣清其平之療痼疾治宿病不足怪也土人聞余素喜此地欲乞證其緣由建碑鷺湯側告來者夫分析泉質講究療法余責也義不可辭之係以銘曰

恙彼溫泉 盪邪濯穢 痊痼保生 肉枯起瘰
 名將始浴 猛鷺治瘡 厥名大著 七百餘霜
 色流雲液 波浸黃玉 內除宿毒 外掃掃毒
 予乘刀圭 來察泉源 茲勒銘辭 以貽後昆

醫科大學教授從五位醫學博士 土肥慶藏撰
 正四位勳三等殿谷修書

(見晴し茶屋) 白根神社境内を一步踏み出しますと、しる粉、みつ豆を商ふて居る

一軒の茶亭があつて誰れしも一度は杖を曳きます、温泉地が眼の下に下瞰され、草津一目と言ふ所は茲の外にありません。

(高山植動園) 白根神社の石階を降り右に曲りて約二町程行きますと高山植動園があります。草津草木が澤山あります。

(琴平神社) 温泉地より西の河原へ行く路の左上に位します、其頂上に祠殿があります。輪喚の美は缺て居ます、昔時、此社殿の籠は草津の銷金窩であつたそうです、今でも其築垣石燈籠なども残りてそらに昔しを忍ぶものが無いでもありません。

(賽の河原) 琴平神社の下から湯川に従つて廻りますと三四丁程で到着いたします。温泉に至る所から湧出し奇石、積石亂在して面白い所です、湯瀧もあり不動の石像も立つて居ります。

(穴守稻荷) 賽の河原の一隅に赤華表の澤山に建つて居る所が夫れです、東京羽田の分靈を祀つたもので花柳界の人々に信仰されて居ます。

(動搖石) 賽の河原より三町も奥へ進みますと動搖石と云ふのがあります、一抱へ位の巨石も指頭で揺るとグラ／＼動きます、其所から北へ小山を越すか不動の湯瀧まで戻つて小流に遡ると木葉石です。

(木葉石) 樹葉の化石したのがありまして澤山採る事が出来ます。

(鬼の相撲場) 直径二十尺位の所が圓く硫氣の爲めに草木の生じない平地になつて居ります、輪廓に短かい草が生へて丘上から見ると土俵とも見られるからでしょう。

(水谷) 賽の河原より西に登る事十町程の所に積雪凍化して萬年の雪を貯へて置く所があります、三伏燐金の頃でも堅氷が巖窟中に満ちて容易に採る事が出来ます、此所より五六丁戻つてから左の方へ廿四五丁登つて行くと満目只之れ石楠木の林にして奇巖怪石の亂立して居る所に出ます。

(千人岩) 此處に在りますが一寸ではどれですか解りませんが、更に進みますと殺陣河原に到着いたします。

(獅子巖) 白根山噴火の熔巖が固まりて其形恰も獅子に似たるを以て獅子巖と云ひます、温泉地より一里、殺生河原に在ります。

(牡丹石) 獅子岩の下方には牡丹の花辦が重なつたような巖石があつて之を牡丹石と稱へて居ます。

(地獄谷) 獅子巖より一町を隔て、摺鉢の底に等しい谷があります、其底の一反歩計りある圓形の處から常に硫氣を噴出して居ります、草樹は繁茂いたしますから鳥獸が之を需めんとして至りますと硫氣に罹り窒息して斃れるため名づけて地獄谷と云つて居るのです。

(脱武具沼) 殺生河原に續いて居ます、建久の昔、義仲の殘黨が武具を脱して此沼

に投じ山樵獵夫に姿を贖へた所と言傳へて居ります、附近に木曾殿の濠、藏人濠、右近の入等の古跡が今でも口碑に貽つて居ります。

(毒水) 白根登山道の一溪流です、弘化の頃、高野長英、佐久間象山と共に此の所を過ぎ流れに硫酸の多きを知りて行人の注意にもと毒水の碑を建て、あつた所より

此の川流を毒水と呼ぶ様になりました。

(常布の瀑) 澁峠への途上、右側の山溪に見へるのかそれです、瀑身百二十尺、二

段となりて落ちる状が白布を懸けてある様です。

(小蓋の池) 澁峠への途中なる芦の平に在ります、池中に大小二個の浮島があつて

風のまに／＼泛遊し仲々奇観です。

(白根山) 温泉地より三里、澁峠への道を執れば間違ひ無く登れます、山は標高七

千八百尺、今では休火山ですが明治十五年噴火して名残を留めました山嶺には噴火口

の殘穴三箇所ありまして湯釜(熱湯を噴出し温泉を湛へて居ます)水釜(水を湛ふ)空釜

(湯も水も涸渴して陸地になつて居ます)と呼びで居ります、附近には硫黄や湯花の蒞

取場があり山は一面の禿地ですか眺望廣潤にして信越甲相の山丘は勿論、關東北の遠

岳近嶺重疊として一眸に收まり其雄觀は筆舌のよくする所ではありません、白根山を

西に下れば萬座温泉、更に澁峠を越せば澁温泉に至ります。

今度は温泉地に戻つて更に案内いたしませう。

(光泉寺) 白旗の湯の傍らから石楮を登れば境内に到ります、薬師堂、鐘樓、釋迦

堂等が鬱蒼とした老樹の間に建て並んで趣きが深かうございます、眞言宗末にして昔

から温泉別當をいたした事は古誌にもございます、兎に角山緒ある草津での古刹です

(運動茶屋) 草津の入口に在ります、淺間の噴煙を遠望するに適し浴餘の運動に杖

を曳きますから其名があるのでしよう、附近は大正公園で眺望に富むた所です。

(泣き燈籠) 運動茶屋の路側にある石の法蓮塔を呼ぶのです、近頃迄歸り客は宿の人や土地の商人、知己の人々に此處まで送られ何れも泣きの涙で袂を別ちましたから其名が起つたのです、其の先の(澤渡道)橋が涙橋です。

(涙橋) 此所まで来て楽しく面白かつた湯治中の事を回顧し別れともなかつた人の事を追想すると熱い涙が滾れます、夫れから誰れ言ふと無く涙橋と呼びます。

(姫仙の瀧) 温泉地から東に觀瀧道を進むと凡一里で到着いたします、瀑身一百六十尺、太き二條の白簾は絶壁に垂れ細き數條の素練は左方に相集まつて形狀恰も畫けるに似て美觀壯觀、得も云へぬ程です草津の瀑布中其右に出づるものはありませんし名所としても之れ以上の所はございませんから一度は曳杖するのをお薦めいたします
(湯畑) 市街の中央に在る温泉の湧出する所で宛然たる熱湯の湖です、一名御汲み上げの湯とも呼びます、澤山の木桶は湯花を採取するために設けて置くのです、周圍

は過半を木柵で圍ひ其中に立入れぬ様になつて居ります。

此の外、曳杖すべき所に猫石、月見獅子、蟻戸渡、帶湯公園、大正公園、祖師堂、八助稻荷、高山植物園、小仙、霜間山、箭澤、北仙、南仙、唐詩、狭藤、獨石、温井、小倉、長篠、玉子、翁澤の十三瀑等があります。ページ都合から省いて置く事にいたします。

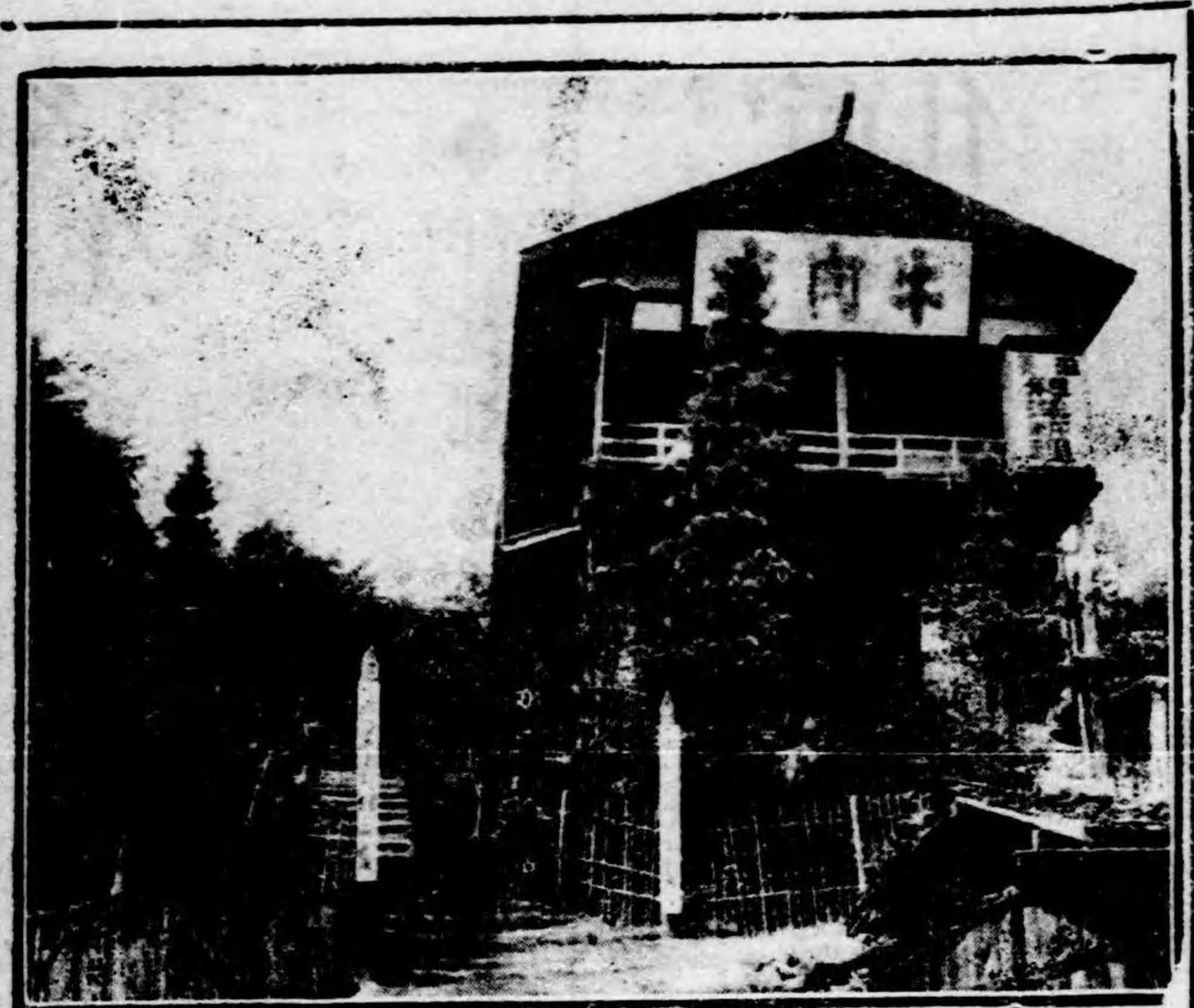
草津名産其他

名産に硫黄、明礬、木葉石、湯の花、草津バーデン(温泉の素)、轆轤細工、篠細工、氷蕎麥、氷餅、生蕎麥、石楠花、石楠花漬、鑛泉煎餅、馬鈴薯粉、温泉蒸片栗粉、雉子、山鳥、慈悲心鳥、深山鳥、杜鵑、鶉、山目魚、丙穴魚、薇、蕨、干蕨、蕨粉、御駒草、クツサメ草、岩苔、羊毛草、千本杉、山蜜柑、山葡萄、甘露梅、落葉松、五葉松、山葵羊羹、栗羊羹、鑛泉羊羹、みすゞ飴等を數へます。就中、湯の花は全

國津々浦々からの需用がありまして其産額は驚く可きものです。

湯の花は市街の中央、湯畑即ち御汲上げの湯より採收するものを最上の品といたし西の河原、白根山等より産出するのは稍々劣つて居ります、最上等壹貫目五圓前後、各旅館雜貨店等に販賣し、遠隔の地よりの注文も輸送する方法があります、其採收權は草津町にして年に數回採收いたします、一年の産額は二千貫に近く、白根山其他の分と併せますれば年額二萬貫餘に達します。

【草津よりの里程表】 澤渡温泉六里、川原温泉四里半、川中温泉五里、四萬温泉九里餘萬座温泉四里餘、花敷温泉二里、鳩湯温泉六里餘、鹿澤温泉九里、白根山三里伊香保温泉十三里餘、日光三十六里、高崎市十九里、前橋市十八里、信州澁温泉七里、淺間山八里、嬭戀驛三里強、東京四十五里。



○弊店は地位高燥にして全市街を眸中に收むべく空氣清澄にして最も衛生に適せり
○弊店は室内清雅にして夏時は樓上より四圍の翠巒を瞻むべく眺望絶佳なり

上毛草津温泉場瀧下町

和洋料理 山口屋牛肉店

電話 十四番

○弊店は自用屠畜場を所有し特に衛生と滋養を主とし頗る生鮮の牛鶏肉を販賣し多少を不論御用命に應ず
○弊店は和洋料理を問はず原料を撰み價を廉にし最も佳味に調進仕普く遊浴諸賢の御枉賀を待つ

名物 生そば 御料理 仕出し

上州草津温泉

柏香亭

電話草津十五番

◆洋食部の設け有之候◆

草津温泉

西洋料理牛鳥肉 仕出し

サカエテ

電話草津二十九番
振替口座東京四六九二六番

高等



遊戯

草津球場 遊戯場

花柳病一般

外科 並 内科

X 光線科

温泉利用研究所

草津療病院

院長 石田鎌吉

電話草津二十番

御料理
仕出し
生そば

上州草津温泉

金

緑

(別亭新築落成致し園遊會御宴會等精々勉強仕り候)

上州草津温泉

御料理
仕出し

壽々美亭

附録

草津の時間湯

●草津温泉の入浴法は勇壯なり、沈痛なり、他の温泉に於て見るべからざる一種の奇観なり、重なる旅館には皆内湯ありて毫も普通の入浴法と異なるなし、唯外に共同的浴場ありて、其内の時間湯と稱するもの即ち此奇観をこそ呈するなれ。

●時間湯は毎日四回(午前六時、十一時、午後二時、五時)毎回三分、時刻を限り時間を限りて入浴するが故に此名あるなり。

●時間湯には隊長なるものありて指揮し、號令す、規律厳正にして宛然たる軍隊的行動なり、時間湯は古來浴客の自治に任せ事に慣れたるもの代るく、號令す、明治の初年、桂燕玉なるもの専ら音頭を取る燕玉は講談師なり、衆先生とも呼ばれず、旦那とも言はれず、唯隊長々々と呼び做せるもの終に其の名稱となり、今や軍隊的行動に相

應はしき稱呼となれるも亦奇ならずや。

●隊長の命令は何人と雖も服従せざるべからず、明治二十九年伊東海軍大將此地に來りて熱の湯に浴す時維れ日清戰役を距ること日久しからず、黄海々戰の偉勳者として人の大將を崇敬すること神の如く然り、大將其入浴中偶々何事をか自語するや、隊長大喝一聲「饒舌なッ」と叱咤す、大將言下に黙して復た聲を發せず、後ち人に向ひて隊長の命令は守らざる可からず」と語る伊東大將且つ然り、況んや其他おや。

●時間湯は六ヶ所にこそ分るれ、其號令も一、總ての調子も亦た一なり、故に茲には唯單に熱の湯の光景のみを記さんとす。

●熱の湯には三槽あり、第一槽最も熱くして百四十五度、第二槽之れに亞ぎて百四十五度、第三槽は熱度稍々低しと雖も尙ほ百三十五度たり、衆板を以て攪拌すること約三十分、熱冷めて百二十度乃至二十二度となり、湯も亦た和らぐ之れを湯揉みといふ梅

毒患者の如き最も運動の効あり、浴客の熱きを好むものは第一槽に浴し、次は第二槽其次は第三槽に浴す、見渡せば第三槽に集まるもの最も多し。

●人員の多寡に依り數回に分ちて入浴す、一回目を一本と曰ひ、二回目を二本と曰ふ一本の時最も熱く次第に熱度遞減して四五本目には百十度となる、熱きを好むものは一本に浴し、婦人は皆最後に浴す。

●入浴の法は皆一齊に入り、一齊に出で、遅速あるを許さず、中途にして或は出で、或は身體手足を動かさんか、熱湯波爛を起して同槽者の膚を侵す痛苦言ふ可からず。

●別に二槽あり、温度低くして内湯と異ならず、内湯無き旅館に、在るもの來りて此槽に浴す。

●曉天を破つて劉曉として喇叭の聲響く、是ぞ入浴を報ずるの合圖なる既にして柝聲起り尋で振鈴聞ゆ旅舎々々の浴客、手に手に檜杓又は湯手拭を携へて、續々入り來る

老人あり、壯者あり、男子あり、婦人あり、三十人、五十人、七十人、極暑の候には百人、二百人にも及ぶ。

●浴客皆衣を脱し、各々筒袖襦袢に腰巻一つの姿となる、腰巻の代りは西洋手拭を纏ふもまたあり、間々手拭地の襦袢を着するものあるを見る、各自足袋を突つ掛くるは全身中足の爪先最も熱を感じるに由る。

●浴客各々三槽に集まり、手に板を取る兩手を以て軽く板の一端を攫み、他の一端を槽中に入れて左に右に動かす、一攪一拌、自から度あり、一揚一抑自から節あり其音ゴットン〜、宛熱槽聲の呻軋に似たり、一人掛聲勇ましく

「ハア、ドッコイ〜」

と高く、強く唱ふれば、他の一人又

「ホイッ〜、コラ〜ドッコイ」

と應へ、相唱へ、相和し、其節頗る妙、時刻愈々移れば手愈々忙はしく、調子愈々急なり、疲るゝもの列を離るれば、他のもの之に代る、ゴットン〜、暫らくも手を休めず、間々婦人の加はるあり、高く細き聲にて調子を合はす。

●此間普通の二槽には男女の浴客其周圍に集まり、髪を洗ふあり、面を洗ふあり、頭に被るあり、背に注ぐあり、其狀千差萬別、鳧鷖の水に浴するに似たり。

●一方には時刻益々移るに随ひ、節益々迫り調子益々急はしく、掛聲亦た益々高し、時こそ來つれど、隊長それと號令すれば、衆一齊に手を停め、手早く襦袢を脱ぎ、腰巻を脱ぎ、赤裸々となりて槽端に陣取り、銘々檜杓を把りて湯を被ること一束(百杯)より二束(二百杯)に至る、是れ逆上又は眩暈を防ぐの手段たり。

●隊長時分を計りて

「宜しくばそろ〜下りませう」

と號令すれば、衆槍杓を捨て、そろ／＼と身を槽中に沈む、湯冷めたりと雖も尙ほ沸騰點に近し、江戸ッ兒たりとも何ぞ堪え易からんや、アツ、／＼と低く叫ぶ聲其處此處に起る強きものは既に首まで沈むも、弱きものは僅に腰を没するに過ぎず、間々双手を槽邊に載するものあり、既にして一同皆沈めば満場寂として一語だも發せず、斯く見たる隊長

「揃つて三分」

と號令すれば、衆一齊に「オーイー」と應ふ入浴是れより三分、稍々暫く音なし、

●時刻移ること一分、隊長

「改正の二分」

と號令すれば、衆又「オーイー」と應ふ、熱氣漸く堪えがたし、衆齒を咬ひしぱり、息を吞む、隊長又、

「限つて一分」

と號令すれば、衆又「オーイー」と應ふ、應ふと言ふよりは寧ろ叫べるなり、固く結べる口より發して其聲自から熱くるし、堪えざるものは漸く藻掻かんとす、隊長

「ちツくり御辛棒」

と號令すれば衆夢中に「オーイー」と叫ぶ隊長透かさず

「辛棒の仕どころ」

と號令すれば、衆又「オーイー」と叫ぶも、其聲漸く力なし、隊長續いて

「サツ、宜しくば上りませう」

と號令すれば、復た誰かは猶豫せん、衆一齊にサツと飛び上る、勢ひ正しく是れ脱兎

●斯くして一本目の入浴は了る

●熱の湯の隊長は野島小八郎と曰ふ越後の人、職に在ること三十餘年、最も老練を以

て稱せらる、湯を手に掬し、滴々として脈所に垂らし、以て熱度を計る、寒暖計を以て之れを試みるに曾て一度以上を誤ることなしと云ふ、人と爲り老實にして謙遜なり圖らざりき、曾て伊東元帥を一喝せしは此老實謙遜の人ならんとは（熊田葦城氏の報知新聞に掲載せるものなり）

草津温泉入浴法

學者の研究に依りますと次の方法を守る事が萬全であり浴効も早やうございます。

□到着の當日は一回乃至二回より多く入浴すべからず道中の疲勞並に土地氣候の變遷により身體に多少の變調を來し易き時なるを以て常に注意すべし。

□入浴前、豫め檜杓にて温泉を頭部に注ぎて後ち浴槽中に入るべし但し此檜杓の數は百杯乃至百五十杯位が適度にして頭に注ぐ際は五十杯位にて左右交互に檜杓を持替ふ

るが宜ろし。

□入浴は一日三回以上五回を越ゆべからず重態の患者は一日一回に止むることあり。

□入浴時間は一回三分乃至五分とす。

□浴後直ちに過度の運動を爲すべからず、皮膚の發汗停止して心動靜穩となり心身常態に復するを待つて徐々運動すべし、温浴は著しく心臟の鼓動を交進せしめ身體の各機關に向つて重力を與ふるものなれば一定度の運動は必要なるが過劇の勞作は大に戒むべし。

□入浴後皮膚の濕氣は丁寧に清拭すべし未だ乾燥せざるに方り衣服を着くるは害あり

□温泉の熱度は華氏百度より百二十度を極度とす、但し心臟、肺、虛弱の者は可及的低温に浴すべし、何人も毎回同温度の湯に浴すのが有益なり。

□空腹の時又は發熱せる際は入浴すべからず、食後一時間は全身の血液胃腸に集注し

食物消化に全力を傾注する時なるを以て血液(温浴すれば血液は皮膚面に來る)皮に誘導するときは消化不良を來し易し。

□入浴禁忌症を有する浴客は醫家の指導を乞ふて入浴すべし。

□入浴中は房事暴飲を慎むべし然らざれば身體疲勞して入浴を了る能はざるに至る。

□入浴後一週又は二週の頃少しく發熱し全身違和食慾不振を來すことあり是れ糜爛發生の前徴にして敢て介意するに足らず他の疾病に原因せざる限りは入浴を繼續するも害なし。

□本泉は温泉の特性として身體内部の酸化作用を増進せしめ皮下脂肪を溶脱し著しく體力を消耗するが爲め相當の滋養食を攝取し其缺損を補償すべし滋養品としては牛肉鶏卵鶏肉、一般魚肉牛乳を主とし其他必要と認むる食料は準備する要あり。

□一定の酒量は却て有効なりと雖も過度の飲用は大に慎むべし殊に心臟病者に對して

は益々其不可なるを認む、浴場は既に心臟の機能を劇動せしむるは世の知る所なり然るに猶ほ加ふるにアルコール性飲料の多量ならんには心力爲に衰弱或は麻痺に陥るの恐あり。

□入浴四週の前後に當り糜爛の絶頂に達すれば局部は腫起潮紅し少しく發熱し液汁の流泄最も甚だしく是より漸次平癒して六七週に至れば殆ど常態に復するを常とす。

□適度の運動は最も必要にして一日も怠るべからず。

□既に糜爛發生に至れば宿所より最近の時間湯に入浴するを以て可なりとす時間湯は規律正確にして常に温度の一定を保ち加ふるに湯長の常に周到なる注意あるを以て大に安全なりと言ふべし併し内湯にて適宜入浴するも不可なるにあらず。

□過度の入浴は効なきのみならず却て身體の調和を傷み衰弱に陥ることあり一日五回を超ゆべからず。

□神經性頭痛ヒステリー又は關節の硬直等は瀧の湯に於て局部を湯瀧に打たしむるを可とす但し頭部は強く打たしむ可からず、一定不變の溫度を應用すべし。

□一定の期日を経れば糜爛は自然に平癒するを以て其以前に當り浴湯を中止し歸國すべからず必ず充分の経過を待つて歸途に着くべし。

□身體に變狀を來したるとき直に醫家に就て其指導を待つべし。

□浴場中身體を溫和すべし殊に入浴前身體を冷却せしめ突然熱湯中に全身を投ずるが如き又浴後寒冷の空氣に觸るゝは戒むべし。

又入浴禁忌症として醫家の擧げたるものに左の七項がありますから御注意を要します

一、總て脚氣症は心臟に異變を來し易きを以て大に注意すべし、殊に惡性脚氣にして衝心を來し易き人は斷然入浴を中止し専ら空氣療養を爲すべし、此地の氣候風土の脚氣療養に適當なるは實に海内無比の稱あり。

二、肺結核に原因する諸病は入浴に注意し殊に其末期にして咯血の恐あるものは斷じて入浴すべからず、入浴は全身の血行を盛ならしめ肺動脈も亦著しく充溢し呼吸促進し心動興進の結果益々咯血を速かならしむるの危険あり。

三、原因の如何に係はらず總て全身浮腫を有する患者は斷じて入浴すべからず。

四、心臟病者の入浴は危険なれば大に警戒すべし。

五、本泉は慢性病に對しては奇効を奏すと雖も急性病に向つては効少なきものと知るべし例令ば月經時諸病發熱時にありては入浴を避くべし。

六、妊婦、老幼及び重態の衰弱に陥りたる患者は入浴に注意を要す。

七、腦充血を起し易き人又は酒客にして腦血管の硬變を呈するものは入浴に注意すべし腦血管の破裂を來し易ければなり。(石田著草津温泉轉載)

「ラヂウム」とは何ぞ 西暦一八九六年獨逸の「ベクレル」氏が「ウラニウム」鑛石内に一種不可思議なる寫眞作用が存在することを發見して之を「ベクレル」線と命名した、此の「ベクレル」線に付ては其の翌年から佛國の（キユウリツヒ）氏夫婦が研究の結果「ベヒブレンデ」鑛石を分析して是は一種の副射能であつて其の顯はれる原起と云ふものは今迄知られなかつた元素の或物であることを確かめ之を「ラヂウム」新元素と命名したのである。

「ラヂウム、エマナチオン」とは何ぞ 「ラヂウム」化合物は副射線（不可思議の寫眞現象）の外に或る放射状の者を發散して居ると認められた人は獨逸の「デヒエレル」及英の「ラザフォールト」諸氏であつて之を「エマナチオン」と命名した。此の「エマナチオン」は千九百〇三年英國の「アレーン」氏が吾人々體に効能が有るだろうと豫言して以來「ウキンナ」の「ケイセル」氏が「ラヂウム」含有石を袋に入れ浴槽に浸し此の内に神経痛、痛風患者等を入浴せしめて實際効能あることを發表した。延ひて内科、外科、皮膚科を首とし其の他の病氣に應用するに至り現今では理學的療法の第一位を占めることとなつたのである。吾草津温泉でも各種の疾病に効能があるのは不思議だと學者間で評して居たのが此の「エマナチオン」發見以來成程と首肯される様になつたのである。「ラヂウム、エマナチオン」の生理的作用 千差萬別の疾病に効力ある「エマナチオン」は其の生命即ち効力時間はたとひ三日と八時間なりと云ふも温泉内にては漸々引き出す様に「アトカラ〜」と現はれて來るのであるから實に無盡藏である。其の効力も消える時がない、況んや火山地層が沈着性を帯ぶれば帯ぶる程「エマナチオン」を多量に温泉中に含有する様になるのであるから、此の後は年を経ると共に効驗は益ます現は

る、譯である。

以上「エマナチオン」の吾人々類に効果を呈するは畢竟するに次の生理的作用あるに原因するのである、即ち一、自家融解作用。二、新陳代謝興奮作用。三、炎症妨害作用の三大要約の下に種々の治癒的経過を取るのである。從て

一、佛國の「ダリエ」氏は疼痛性疾患には鎮痛の作用が顯著なることを確證せられた、三浦博士は癌腫の如き悪性腫瘍にして手術全く不可能で然かも劇甚なる疼痛ある患者に對し之を實驗し其の鎮痛の効能は「モルヒネ」類に代用すべき値あることを論せられてある。

二、種々の慢性炎症の進行を停め又は炎症産出物の吸収を促し治癒せしめたことは土肥博士及其の他諸氏の報告に依つても明である。

三、「エマナチオン」より其の破壊産物として顯はれる「ラヂウムデー」は血中の尿酸を

溶解し易き物質に分解し更に炭酸と「アンモニヤ」とに分解せしめる力がある。

四、獨逸の「ブレッシユ」氏は血液中の主成分なる「ヘモグロビン」は「エマナチオン」に對して特殊の親和力を有するものではない、只中和性瓦斯と同様の關係を有し血液中に吸収混和するのであると云つて居る。

五、「ベルリン」に於ける「レーウイ」及び「ブレッシユ」兩氏は健康者並に病者の循環及び物質交換に及ぼす作用は呼吸より起る物質交換と動靜脈血液中の酸素含有の量には少しも影響せぬと云つて居る、又同氏等の研究に依れば血壓は降下するも昇騰することはない從て心臟の働きは靜になるのである。

六、「アイセホルツ」氏は骨盤臓器（主に婦人病）及び常習便秘ある者には「エマナチオン」の處置を適當とした、「エマナチオン」は吾人の新陳代謝機を亢進せしめて窒素を多量に排泄する力を有し其の作用は空腹時に最も強く現出するのである。

七、「ラヂウム」放線の治療上の効力は局部的である、然し「エマナチオン」の効力は廣汎即ち全身に及ぼすことが出来る、且つ又緊張の度が大きければ大なる程血液内に吸収せらるゝ量も多く従て効果も大である、又「エマナチオン」を含む空氣中に在る時が長ければ長き程其の吸収抱和の度が著しく効がある。

八、「エマナチオン」を應用する際に吾人の運動が激しければ激しき程身體内に吸収抱和せられることが速かである亦其の吸収せられた後は、反對に身體を安靜に保つ程長く「エマナチオン」は體内に止り効力を發揮するのであるから入浴後は體を靜かにするのを主要とせねばならぬ。

九、「エマナチオン」が血中に溶解する度合は温度の増加と共に減却することは確かである。

三度にて

〇、二四五

二十度にて

〇、二二三

四十度にて

〇、一七

六十度にて

〇、一三五

海水にて

〇、一六五

以上ホフマン博士(攝氏温ニラ示ス)

獨逸醫事週報に「ブレンツシエ」氏は研究の結果「エマナチオン」攝取量は呼吸器の能働量に關し即ち血液及組織に對して肺氣胞中の稠厚度が大なるだけ増加すと結論した而して組織細胞を「エマナチオン」が通過する際に其の放射能働の性分を組織中に沈澱殘留せしめ此の沈澱は更に遊散性物質を出して生理的作用を發揮する、大學教授「ペラザルス」氏は以上の作用が胃腸よりも同様に顯はれることを確めた、是れ内科學に應用せられたる要素の一である。

十、大學教授「ペラザルス」氏は血液中多量の「エマナチオン」を吸収せしむるも有効無害を證認し白血球減少すと云へり、如斯「エマナチオン」は組織の分解就中病窓組織を分解せしむる効能がある。

十一、「エマナチオン」を含有する温泉に入浴の効果は直接皮膚に及ぼす作用で可成多量の「エマナチオン」を含有する入浴場を撰定するを要す、又可成温度の高くないのが宜い、比較的諸臓器に變狀を來さざる限り入浴期間は長い方が宜い（入浴後不快の感あるは度に過ぐる恐ありと思ふ）

十二、「エマナチオン」に關係なく本邦人に後害を遺すことなき理學の入浴温度は攝氏四十度より四十五度が適當だ、五十度迄は害が少ないが以上の温度は害を遺す、但し花柳病より來る遺瘍性頑固の疾患及び頑固の痒疹類の皮膚病や手術後の肉芽不良の如きは短時間の高温浴を取るも差支へない、併し心臓衰弱を豫防せねばならぬ。

十三、草津鑛泉は水銀中毒、鉛中毒の如き組織内の金屬性の沈着物を溶解せしめ新陳代謝と共に排泄を良効とする効果が著しく從て頑固梅毒等の治癒的經過を取るは偶然ではない、從て又水銀劑内服の補助機關浴と稱しても宜い。

十四、「エマナチオン」は自然の鑛泉にては其の水面の上に多量に存在することを忘れてはならぬ、鑛泉中の「エマナチオン」は其の温泉高き程速に外部に逃げ出す傾向がある況んや攪拌すれば愈々速に無くなる者である。

十五、前にも述べた通り「エマナチオン」含有の湯に入浴する効果は主として皮膚より作用効果であるから吾草津温泉中に「エマナチオン」があるからとて早計にも其の水蒸氣否な他の混合瓦斯を殊更に吸入するのは愚の至りであるから自然の呼吸に任せて置けば宜しい「エマナチオン」を呼吸器から作用せしめるには夫れ／＼充分の設備器物を要することを忘れてはならぬ。

十六、「エマナチオン」は勿論催眠作用と便通を催す作用はある、然し吾草津では温度に注意せないと却つて不眠症を増すことがあるから注意を要する。（草津温泉轉載）

大正十一年九月二十日發行
大正十一年九月十日印刷

(定價金貳拾錢)

發行者兼

戶 九 國 三 郎

印刷者

海 老 根 義 昌

印刷所

東京市京橋區南小田原町
一丁目河岸

版
權
不
許
複
製
有
所

發行所

合資 日本溫泉協會代理部

東京市京橋區柳町四番地
電話京橋五九六三番

草津溫泉浴醫局 草津療養院

□□□□ 入 □□□□
□□□□ 院 □□□□
□□□□ 應 □□□□
□□□□ 需 □□□□

(無料診察券は
各旅館に在り)

白根神社下

布 施 廣 雄

電話草津三十番

長野縣輕井澤驛前

草津温泉
御入湯客
御案内所

旅 館

清響館

油

屋

電話輕井澤國十三番
電信略號(アフ)

107
A77



草津湯の花

入浴用定價 一週間金八十錢 四日間金五十錢
 各國温泉湯の花浴湯原料問屋



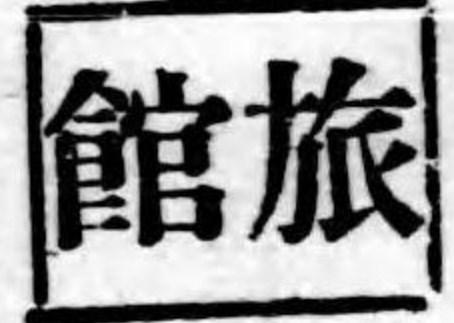
草津鑛泉湯花合資會社

振替口座東京二九三九一番

宮内省御買上の光榮を賜ふ、金牌銀牌多數受領す

草津温泉御入浴客のタダレ治しに効驗卓絶、草津より六里
 上州澤渡温泉宿屋組合

御一報次第
 案内記贈呈
 丸本 新叶屋
 正永館 萬屋



入浴用品 文具
 食料用品 土産品
 印刷品 繪葉書
 藥種類 吳服類
 化粧品 小間物
 玩具荒物 乾物金物
 郵便切手 端書其他

上州草津温泉場(熱の湯前)
 湯の花販賣元
 本多商店

□草津へ御來浴の節は是非共御來店の上多少に拘ら
 ず御用命有之度奉願上候
 □草津温泉湯の花は如何なる御遠方よりの御注文に
 ても御手紙にて御申越次第代金引換小包郵便にて
 草津に御送可也

終

